

地震に備える

教頭 角 玲子

5月も終わりとなりました。全国では梅雨入りをした地域もあり、関東地方の梅雨入りも間近ですね。

さて、岩戸支援学校では先日、今年度1回目の避難訓練を行いました。本校では年に3回の避難訓練と月1回を目安にシェイクアウト訓練を行っています。5月の避難訓練は大地震を想定したものでした。

当日は訓練用の地震速報が流れ、シェイクアウトののち、グラウンドに皆で避難しました。訓練に参加していただいた、消防署の方からは次の話をしていただきました。

- ・実際の地震では、机の下に身を隠す際に、動くつもりがなくても体が勝手に動いてしまうことがあるので、机の足をしっかりと持って、机が動かないようにすると良い。
- ・5月9日の石川県の地震は震度5強。家屋が倒壊したが、テーブルの下に隠れていたため、怪我なく救助が行われたケースがあった。すぐに机の下に身を隠し、頭を守ることが大切である。
- ・震度5の際には窓ガラスは割れるので、あらかじめ避難経路を把握しておくこと。

学校長からは避難訓練は自分の命を守る訓練であり、避難の際、「『お・か・し・も・ち』はいりません」を守ることが大切であることについて話がありました。「おかしもち」の意味は次のとおりです。

お…おさない
か…かけない
し…しゃべらない
も…もどらない
ち…近寄らない

各地で大きな地震が発生しており、関東でも、いつ大きな地震がきてもおかしくないと言われています。学校にいる時間よりも学校外にいる時間のほうがずっと長いです。いろいろな状況での訓練を積み重ね、生徒自身が自分の身を守ることができるように地震の備えをしていきたいと考えます。



おさない



かけない



しゃべらない



もどらない



ちかよらない

